

# 中小企業景況調査報告書

2019年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



Asano Park

一宮市観光協会提供

## 目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所



# 調 査 の 要 領

- ・ 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- ・ 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- ・ 調査の実施（方法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- ・ 調査対象企業数 100事業所。

- ・ 調査対象企業 次の表のとおり  
の業種

（1）景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
（繊維製造業）	（49）
（その他製造業）	（12）
卸売業	11
小売業	11
サービス業	10
合 計	100

（2）繊維製造業対象事業所（49）の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	22
染色整理加工業	10
縫製加工業	3
そ の 他	8
合 計	49

- ・ 分析方法
  1. DI (Diffusion Index) 分析  
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
  2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- ・ 分析項目
  1. 前年同期比  
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
  2. 前期比  
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- ・ その他の分析
  1. 設備投資 実施状況数
  2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
 

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

# 今 期 の 概 況

## 景況は足踏みがみられる。

### 1 . 前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、売上、従業員のDI 値で前期実績を上回り、業況、採算、資金繰りのDI 値で前期実績を下回った。

来期は、従業員のDI 値で今期実績を上回り、採算のDI 値で今期実績横ばい、業況、売上、資金繰りのDI 値で今期実績を下回る見通し。

#### 指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 16.0 から 18.0 (2.0 ポイント減) となり、来期は 20.0 (2.0 ポイント減) となる見通し。

売上DI 値は、前期実績 10.0 から 5.0 (5.0 ポイント増) となり、来期は 22.0 (17.0 ポイント減) となる見通し。

採算DI 値は、前期実績 17.0 から 24.0 (7.0 ポイント減) となり、来期は今期実績 24.0 と同様、横ばいとなる見通し。

資金繰りDI 値は、前期実績 2.0 から 4.0 (2.0 ポイント減) となり、来期は 7.0 (3.0 ポイント減) となる見通し。

従業員DI 値は、前期実績 5.0 から 3.0 (8.0 ポイント増) となり、来期は 6.0 (3.0 ポイント増) となる見通し。

#### 繊維製造業の状況

今期(表 2、5 参照)は、従業員のDI 値で、前期実績を上回り、資金繰りのDI 値で、前期実績横ばい、業況、売上、採算のDI 値で、前期実績を下回った。

来期は、従業員のDI 値で、今期実績を上回り、採算のDI 値で、今期実績横ばい、業況、売上、資金繰りのDI 値で、今期実績を下回る見通し。

### 2 . 前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を上回った。

#### 指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 17.0 から 10.0 (7.0 ポイント増) となった。

売上DI 値は、前期実績 27.0 から 6.0 (33.0 ポイント増) となった。

資金繰りDI 値は、前期実績 10.0 から 4.0 (6.0 ポイント増) となった。

#### 繊維製造業の状況

今期(表 9、10 参照)は、業況のDI 値で、前期実績横ばい、売上、資金繰りのDI 値で、前期実績を上回った。

### 3 . 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(38 件、28 事業所)に比べ、件数、事業所数ともに減少している。

今期の実績(表 4、6 参照)は 31 件(22 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』9 件、『O A 機器』6 件、『車両・運搬具』5 件となっている。

来期の計画(表 4、6 参照)は 43 件(28 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』14 件、『O A 機器』10 件、『工場建物』『車両・運搬具』各 5 件となっている。

### 4 . 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『販売等単価の低下・上昇難』、『従業員の確保難』を挙げている。

# 業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

## A 社（建設業）

スーパーゼネコンの業況は、リニア、オリンピック関連の受注などから好調だが、中小ゼネコンは、就業者数の減少および高齢化といった問題が課題である中で、当社の業況は低迷している。

## B 社（製造業 <燃系>）

自社開発した意匠燃系は、商社を通して欧州の一流ブランド企業へ供給している。同製品の利益率は高く、業況も良い。

## C 社（製造業 <織物>）

3年前からジャージーの売上は年々減少傾向にある。その背景は、百貨店の売上が減少していること、中国人の爆買いが落ち着いたこと、消費者の需要が停滞していることが要因として考えられる。

## D 社（製造業 <織物>）

最近の業況は、原材料価格の高騰の一方、高騰分を販売価格に十分、転嫁できないことから増収減益の状況である。今後も消費税の引き上げと米中貿易摩擦など海外の経済リスクの高まりなど一段と厳しい年になりそうである。

## E 社（製造業 <食料品>）

売上は、前年同期比増加しているが、一昨年の同期でみると横ばい。内訳は、卸向けは伸びているが、スーパーなどの小売向けは減少している。一方、原材料価格はじりじり上昇している。

## F 社（製造業<鉄工>）

主力分野である自動車関連企業からの受注は減少傾向にある。取引先からの受注生産となるため、売上は大きな波がある。来期も急な受注増加が見込めず、今は耐えるばかりである。

## G 社（卸売業<容器>）

顧客である市内の個人飲食店は廃業が増えている。飲食店だけを顧客とすることなく、一宮市内外の老人施設などの顧客開拓をしているが、思うように増収に結び付いていない。

## H 社（小売業）<婦人服>

入社・入学時期前とGW前の駆け込み需要はあったが、GW中は来店客がほとんどなく、また寒暖の差が著しかったため春物商品の売上は減少した。

## I 社（小売業）<仏具>

最近の業界は、右肩下がり推移している。しかし、10月の消費増税の影響で住宅購入の駆け込み需要に併せて仏壇の買い替えや修理の注文が9月まで入っている。

## 景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H30. 4～6月	H30. 7～9月	H30. 10～12月	H31. 1～3月	今 期 H31. 4～R1. 6月	来期の見通し R1. 7～9月
業 況	▲ 5.1	▲ 8.0	▲ 4.0	▲16.0	▲18.0	▲20.0
売 上	▲ 4.0	4.0	2.0	▲10.0	▲ 5.0	▲22.0
採 算	▲ 6.1	▲12.0	▲11.0	▲17.0	▲24.0	▲24.0
資金繰り	▲ 7.1	▲ 2.0	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 4.0	▲ 7.0
従 業 員	6.1	2.0	▲ 3.0	▲ 5.0	3.0	6.0

## 景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H30. 4～6月	H30. 7～9月	H30. 10～12月	H31. 1～3月	今 期 H31. 4～R1. 6月	来期の見通し R1. 7～9月
業 況	4.2	0.0	▲ 6.1	▲18.4	▲30.6	▲32.7
売 上	8.3	6.1	▲18.4	▲22.4	▲28.6	▲30.6
採 算	▲ 4.2	▲ 6.1	▲12.2	▲20.4	▲28.6	▲28.6
資金繰り	▲ 8.3	2.0	▲ 4.1	▲ 8.2	▲ 8.2	▲14.3
従 業 員	▲ 2.1	4.1	▲ 8.2	▲ 6.1	6.1	8.2

# 業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	11	11	10	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1 (1)	10 (5)	0 (1)	2 (1)	2 (3)	15 (11)	▲ 18.0  (▲20.0)
	不変	4 (4)	28 (32)	7 (6)	6 (10)	7 (6)	52 (58)	
	悪化	2 (2)	23 (24)	4 (4)	3 (0)	1 (1)	33 (31)	
売上	増加	4 (1)	10 (6)	4 (1)	5 (2)	5 (3)	28 (13)	▲ 5.0  (▲22.0)
	不変	0 (3)	28 (31)	4 (6)	3 (8)	4 (4)	39 (52)	
	減少	3 (3)	23 (24)	3 (4)	3 (1)	1 (3)	33 (35)	
採算	好転	2 (1)	6 (3)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	10 (5)	▲ 24.0  (▲24.0)
	不変	3 (4)	30 (36)	9 (10)	8 (11)	6 (5)	56 (66)	
	悪化	2 (2)	25 (22)	2 (1)	3 (0)	2 (4)	34 (29)	
資金繰り	好転	1 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	3 (3)	▲ 4.0  (▲7.0)
	不変	6 (6)	53 (51)	11 (11)	10 (11)	10 (8)	90 (87)	
	悪化	0 (0)	6 (9)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	7 (10)	
従業員	増加	0 (0)	13 (10)	1 (1)	0 (0)	1 (2)	15 (13)	3.0  (6.0)
	不変	6 (7)	40 (48)	10 (10)	10 (9)	7 (6)	73 (80)	
	減少	1 (0)	8 (3)	0 (0)	1 (2)	2 (2)	12 (7)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( )内は来期

# 新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	22	来期	計画している ※2	28
	(事業所数)	実施していない	78	(事業所数)	計画していない	72

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	2 件	5. 付帯施設	3 件	4 件
2. 工場建物	4 件	5 件	6. O A 機器	6 件	10 件
3. 生産設備	9 件	14 件	7. 福利厚生施設	1 件	2 件
4. 車両・運搬具	5 件	5 件	8. その他	1 件	1 件
			合計	31 件	43 件

複数回答可

## 業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5
-----

	事業所数	6	22	10	3	8	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1 (0)	3 (2)	0 (1)	1 (0)	2 (1)	7 (4)	▲ 30.6  (▲32.7)
	不変	2 (4)	6 (8)	9 (8)	1 (2)	2 (3)	20 (25)	
	悪化	3 (2)	13 (12)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	22 (20)	
売上	増加	0 (0)	2 (1)	1 (2)	1 (1)	2 (1)	6 (5)	▲ 28.6  (▲30.6)
	不変	3 (4)	8 (9)	8 (6)	2 (1)	2 (4)	23 (24)	
	減少	3 (2)	12 (12)	1 (2)	0 (1)	4 (3)	20 (20)	
採算	好転	1 (0)	2 (1)	0 (1)	1 (0)	2 (1)	6 (3)	▲ 28.6  (▲28.6)
	不変	2 (5)	12 (13)	6 (5)	1 (2)	2 (4)	23 (29)	
	悪化	3 (1)	8 (8)	4 (4)	1 (1)	4 (3)	20 (17)	
資金繰り	好転	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	▲ 8.2  (▲14.3)
	不変	5 (5)	18 (16)	8 (8)	3 (3)	7 (8)	41 (40)	
	悪化	0 (1)	4 (6)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	6 (8)	
従業員	増加	1 (0)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	9 (6)	6.1  (8.2)
	不変	4 (6)	15 (18)	9 (10)	3 (3)	3 (4)	34 (41)	
	減少	1 (0)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	6 (2)	

※ 採算は経常利益で判断

## 新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6
-----

設備投資	今期	実施した ※1	13	来期	計画している ※2	16
	(事業所数)	実施していない	36	(事業所数)	計画していない	33

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	1 件	1 件	6. O A 機器	3 件	5 件
3. 生産設備	6 件	11 件	7. 福利厚生施設	0 件	1 件
4. 車両・運搬具	3 件	2 件	8. その他	0 件	0 件
			合計	15 件	21 件

複数回答可



# 景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H30.4～6月	H30.7～9月	H30.10～12月	H31.1～3月	今期 H31.4～R1.6月
業況	10.1	▲12.0	▲9.0	▲17.0	▲10.0
売上	18.2	▲9.0	0.0	▲27.0	6.0
資金繰り	▲3.0	▲6.0	▲1.0	▲10.0	▲4.0

# 業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	11	11	10	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0	10	1	1	4	16	▲10.0
	不変	5	35	6	7	5	58	
	悪化	2	16	4	3	1	26	
売上	増加	0	21	4	3	6	34	6.0
	不変	4	23	4	4	3	38	
	減少	3	17	3	4	1	28	
資金繰り	好転	0	3	0	0	0	3	▲4.0
	不変	7	53	11	9	10	90	
	悪化	0	5	0	2	0	7	

## 景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H30.4～6月	H30.7～9月	H30.10～12月	H31.1～3月	今 期 H31.4～R1.6月
業 況	20.8	▲16.3	▲16.3	▲12.2	▲12.2
売 上	37.5	▲16.3	▲26.5	▲32.7	0.0
資金繰り	▲ 2.1	▲ 4.1	▲ 4.1	▲12.2	▲ 4.1

## 業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	22	10	3	8	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	1	4	2	0	1	8	▲ 12.2
	不 変	3	12	7	2	3	27	
	悪 化	2	6	1	1	4	14	
売 上	増 加	0	11	2	1	1	15	0.0
	不 変	4	6	6	1	2	19	
	減 少	2	5	2	1	5	15	
資 金 繰 り	好 転	1	1	1	0	0	3	▲ 4.1
	不 変	5	17	8	3	8	41	
	悪 化	0	4	1	0	0	5	

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○民間需要の停滞	○官公需要の停滞	○従業員の確保難
繊維製造業	○需要の停滞	○原材料価格の上昇	○人件費の増加
製造業 (繊維製造業は除く)	○従業員の確保難	○生産設備の不足・老朽化	○原材料価格の上昇 ○製品(加工)単価の低下・上昇難 ○熟練技術者の確保難 ○需要の停滞
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・上昇難	○仕入単価の上昇
小売業	○販売単価の低下・上昇難	○仕入単価の上昇	○大型店・中型店の進出による競争の激化
サービス業	○従業員の確保難	○利用料金の低下・上昇難	○利用者ニーズの変化への対応 ○人件費の増加

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	0
材料の入手難	1
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	4
下請単価の上昇	3
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
熟練技術者の確保難	3
下請業者の確保難	4
官公需要の停滞	9
民間需要の停滞	11
その他	0
合 計	41

### 繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	1
製品ニーズの変化への対応	25
生産設備の不足・老朽化	23
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	36
原材料の不足	0
人件費の増加	33
原材料費・人件費以外の経費の増加	9
製品(加工)単価の低下・上昇難	25
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	28
熟練技術者の確保難	28
需要の停滞	55
その他 (下請外注先の減少)	1
合 計	271

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	6
生産設備の不足・老朽化	11
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	7
原材料の不足	0
人件費の増加	6
原材料費・人件費以外の経費の増加	1
製品(加工)単価の低下・上昇難	7
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	7
需要の停滞	7
その他	0
合 計	66

### 卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	5
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	7
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	3
需要の停滞	18
その他 (メーカーの廃業により、同業他社へ注文が集中し、順調な仕入れが難しい商品がある)	2
合 計	55

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	9
同業者の進出	1
購買力の他地域への流出	8
消費者ニーズの変化への対応	5
店舗の狭隘・老朽化	1
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	11
仕入単価の上昇	10
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	7
需要の停滞	7
その他	3
合 計	62

### サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	6
店舗施設の狭隘・老朽化	2
人件費の増加	6
人件費以外の経費の増加	1
利用料金の低下・上昇難	7
材料等仕入単価の上昇	4
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	15
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	3
その他	0
合 計	53

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

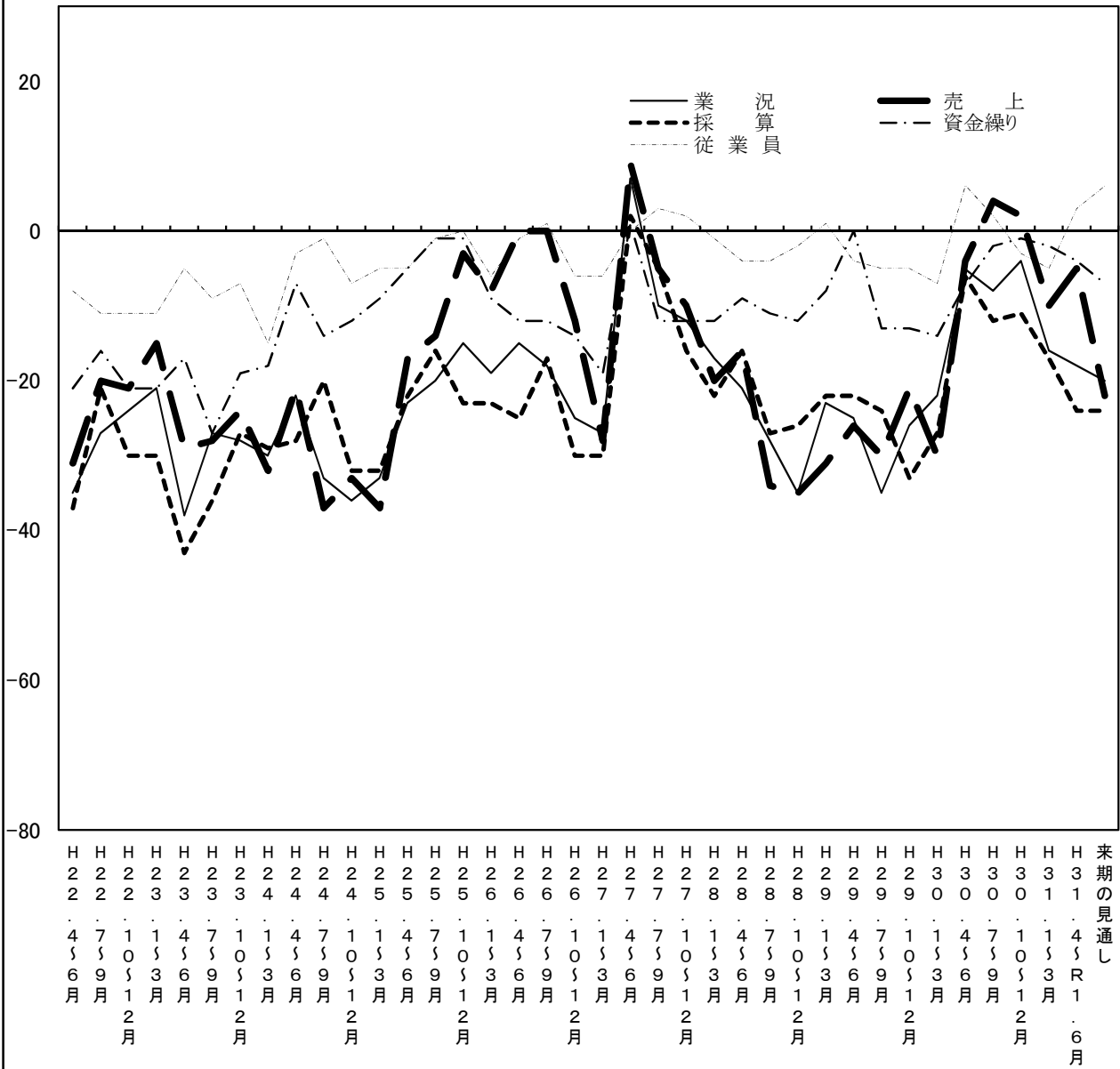


図 2

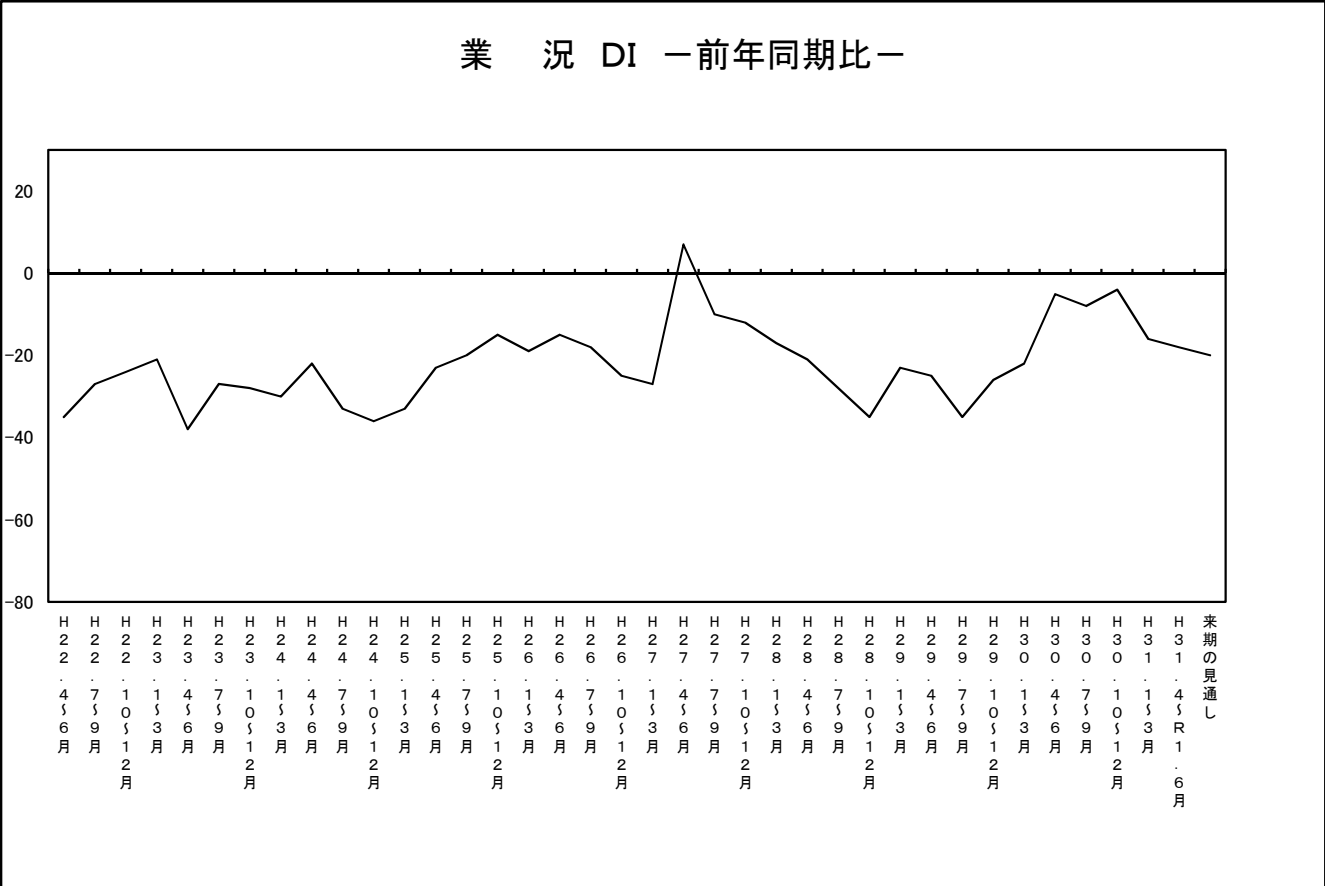


図 3

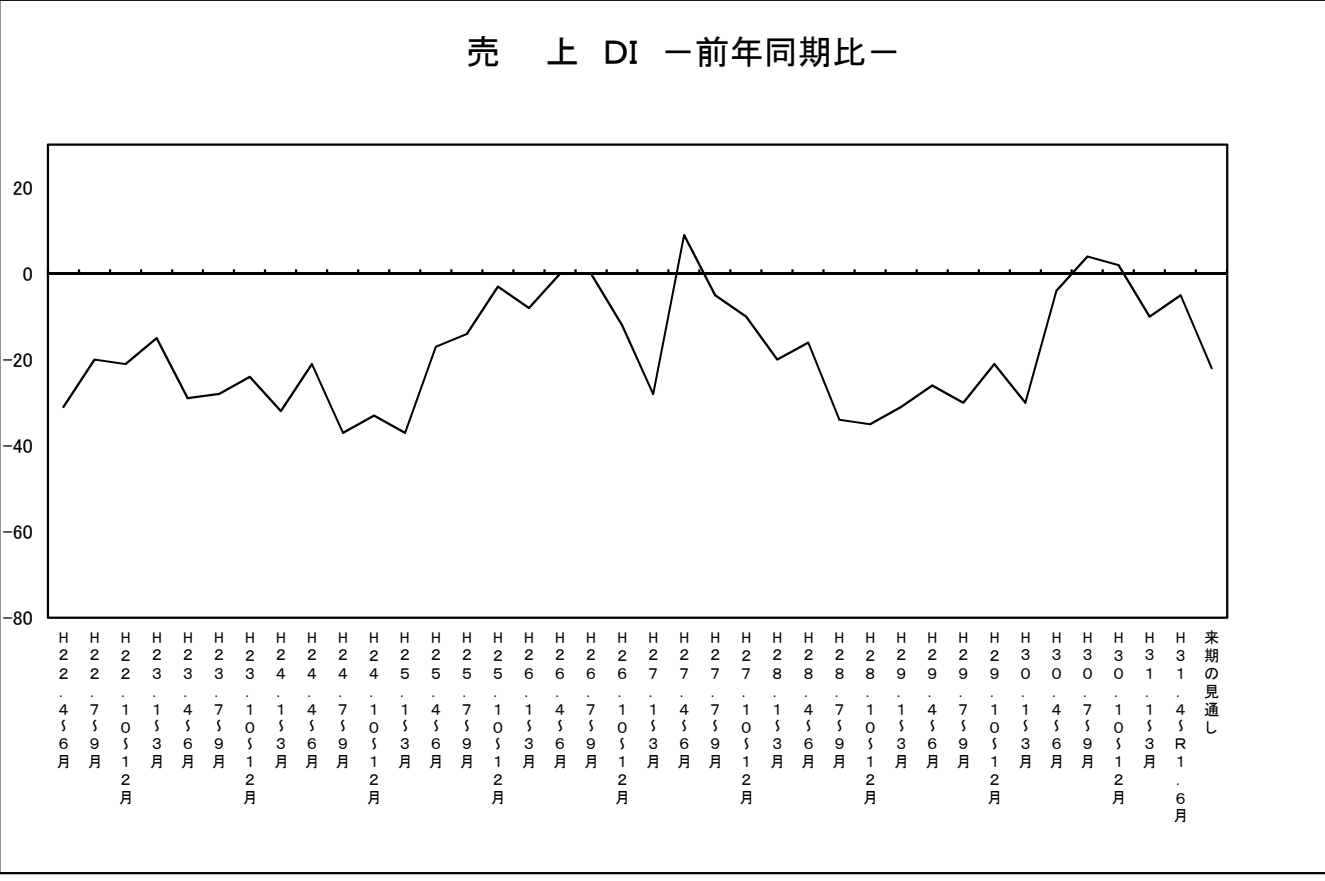




図 4

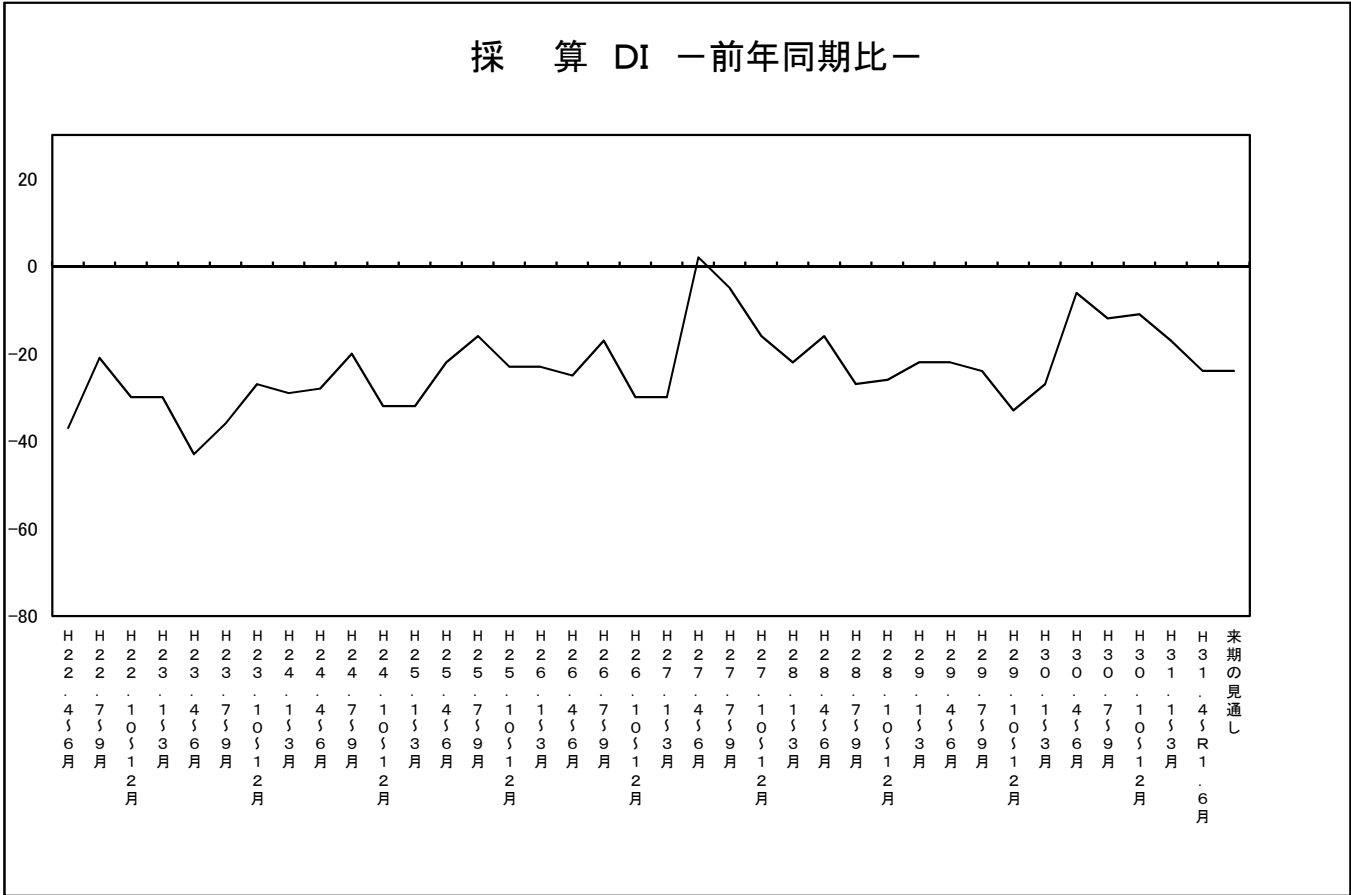
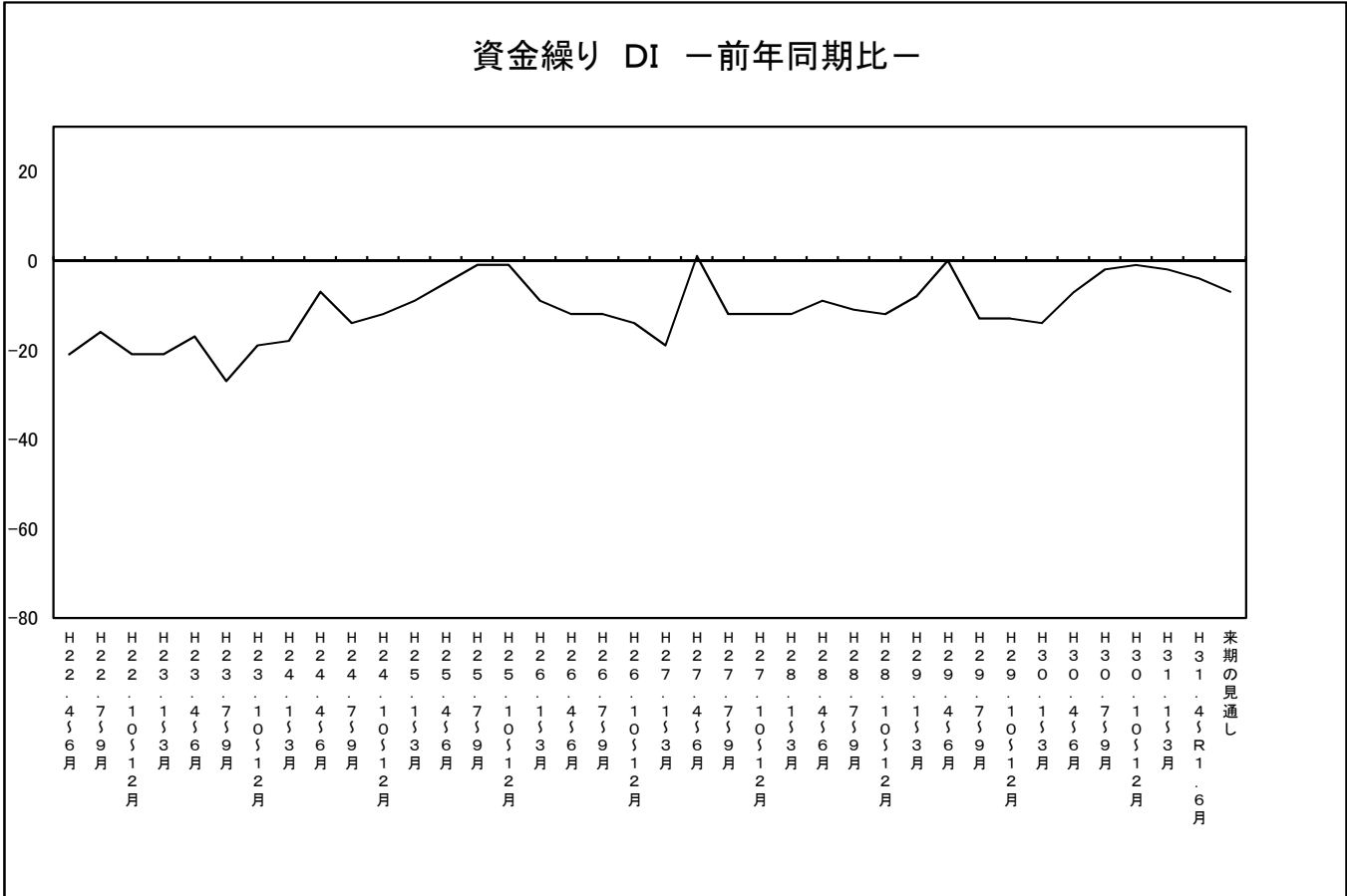
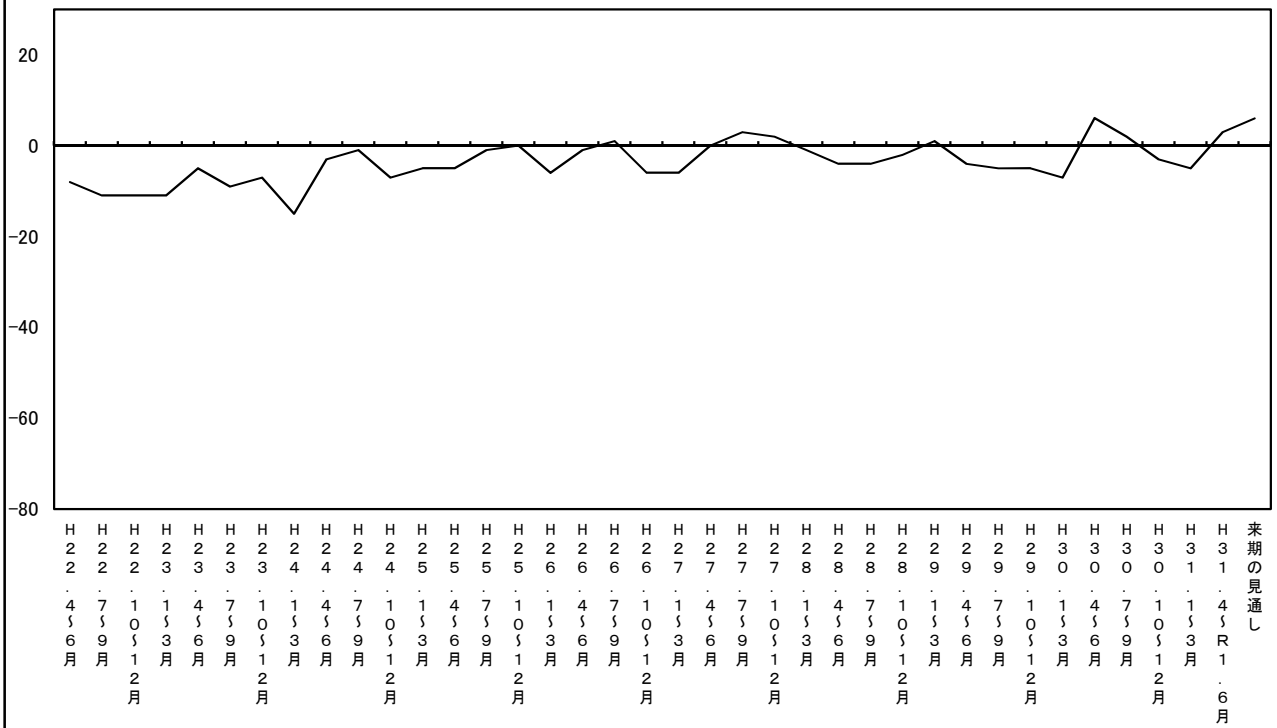


図 5



従業員 DI - 前年同期比 -







**一 宮 商 工 会 議 所**  
**中 小 企 業 相 談 所**

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail [soudan@ichinomiya-cci.or.jp](mailto:soudan@ichinomiya-cci.or.jp)